

平 成 2 4 年 度

決 算 報 告 書

第 9 期事業年度

自 平成24年 4 月 1 日

至 平成25年 3 月31日

国立大学法人 東 京 芸 術 大 学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人東京芸術大学
(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,795	4,639	△ 156	(注3)
うち補正予算による追加	－	24	24	(注4)
施設整備費補助金	1,274	538	△ 736	(注5)
補助金等収入	－	11	11	(注6)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27	27	－	
自己収入	2,099	2,196	96	
授業料、入学金及び検定料収入	1,992	2,019	27	(注7)
雑収入	107	176	69	(注8)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	391	581	190	(注9)(注10)
引当金取崩	－	6	6	(注11)
計	8,588	8,001	△ 587	
支出				
業務費	6,895	6,700	△ 194	
教育研究経費	6,895	6,700	△ 194	(注1)・(注12)
施設整備費	1,301	565	△ 736	(注13)
うち施設災害復旧事業	－	－	－	
補助金等	－	11	11	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	391	481	90	(注2)・(注15)
計	8,588	7,759	△ 829	
収入－支出	－	242	242	

○損益計算書の計上金額と決算金額の集計区分の相違の概要

(注1) 損益計算書に計上されている役員人件費、教員人件費及び職員人件費は、決算報告書上、教育研究経費に含めて表示されています。その概要は以下のとおりであります。

役員人件費	65百万円
教員人件費	3,805百万円
職員人件費	945百万円

(注2) 寄附金に係る経費は、固定資産取得に係るものを除き損益計算書上、それぞれの経費として計上されていますが、決算報告書上、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に表示されています。その概要は以下のとおりであります。

教育経費	77百万円
研究経費	73百万円
教育研究支援経費	0百万円
教員人件費	24百万円
職員人件費	2百万円
一般管理費	8百万円

○予算と決算の差異について

(注3) 運営費交付金については、給与改定臨時特例法に基づく国家公務員の給与削減と同等の給与削減相当額の減により、予算金額に比して決算金額が156百万円少額となっております。

(注4) 平成24年度補正予算(第1号)により、予算金額に比して決算金額が24百万円多額となっております。

(注5) ライフライン再生(給水設備等)事業及び国際演奏芸術高度研究スクエア改修事業が翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が736百万円少額となっております。

(注6) 予算段階では予定していなかった文化芸術振興費補助金及び研究者海外派遣基金助成金の交付を受けたため、予算金額に比して決算金額が11百万円多額となっております。

(注7) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者数の増加により、予算金額に比して決算金額が27百万円多額となっております。

(注8) 雑収入については、補助金間接経費(科研費)収入の増加により、予算金額に比して決算金額が69百万円多額となっております。

(注9) 受託研究費等及び寄付金の受入増加のため、予算金額に比して決算金額が190百万円多額となっております。

(注10) 特許権及び著作権に係る収入は、予算においては産学連携等研究収入及び寄附金収入等に予算額2百万円が計上されておりますが、決算においては雑収入に決算額3百万円を計上しており、その差額は0百万円であります。

(注11) 予算段階では予定していなかった退職給付引当金の取崩をおこなったため、予算金額に比して決算金額が6百万円多額となっております。

(注12) (注3)に示した理由及び経費の節減等により、予算金額に比して決算金額が194百万円少額となっております。

(注13) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が736百万円少額となっております。

(注14) (注6)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が11百万円多額となっております。

(注15) (注9)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が90百万円多額となっております。